

# 憲法・野党共闘

## 山下さんが絶対に必要です



### 憲法学者 小林 節

今、日本の政治を救うには、野党全体の力を高める以外にない。そのためには、ブレない野党・共産党が議席を伸ばすことが必要である。

日本国憲法の精神が心に根付いている山下さんは、その誠実な人柄で野党共闘の要にもなってきた。

この国に不可欠な政治家として、山下芳生さんの続投を私も心から応援したい。

党副委員長・参議院議員(3期)

活動地域

大阪(兵庫、滋賀、奈良、和歌山(京都をのぞく近畿))

比例代表

# 山下よしき

芳生

### 困った人をほっとかない あったかい人間の連帯を国の政治に

ひとにぎりの大企業・富裕層やアメリカばかりに顔をむける政治から、まじめに生きる人びとに希望がわいてくる政治へ——との思いでがんばってきました。これからもみなさんの願いを届け、共同の力で政治をうごかします。ご支援よろしくお願ひします。

ホームページ [www.yamashita-yoshiki.jp/](http://www.yamashita-yoshiki.jp/) @jcpyamashita

### おばあちゃんの2つの教え



「人の役に立つ人間になれ」「共産党にはなったらいかん」。おばあちゃんの二つの教えです。

しかし、共産党が侵略戦争に命がけで反対したことを知り「どんなに困難でも信念を貫くことが人の役に立つ生き方では」と入党。「あなたの教え、一つは守りました。一つは乗り越えました」と仏壇に手を合わせています。

#### よしきの原点



### 阪神・淡路大震災「国会議員とは」を学ぶ

初当選は阪神・淡路大震災の半年後。道路や港は復興するのに、被災者の生活再建は置いてきぼり。被災者の叫びを聞くたびに「国会議員として何ができるか」を考えました。

「政府がやらないなら自分らで」と作家の小田実さん(故人)らと勉強会を立ち上げ、法案提出にこぎつけて生活再建への公的支援に道を開きました。

### 「全国は一つ」、参議院比例代表で7議席をめざします

|  |   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| <br>仁比 圭二<br>参議院議員<br>中国、四国、九州、沖縄 | <br>山下よしき<br>党副委員長<br>参議院議員<br>大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山 | <br>井上 さとし<br>参議院議員<br>東海、北陸、信越、京都 | <br>井上 さとし<br>党中央委員<br>南関東 | <br>いしば 寿幸<br>党書記局長<br>参議院議員<br>東京 | <br>小池 晃<br>参議院議員<br>北関東 | <br>梅村 さえこ<br>前衆議院議員<br>北海道、東北 | <br>紙智子<br>参議院議員<br>北海道、東北 |
|--|---|---|---|---|---|---|---|

比例代表予定候補(第一次)

2019年7月 参院選投票方法 比例代表は「日本共産党」政党名を書きます。個人名でも投票できます。選挙区は「候補者の名前」

### 参議院比例代表は

# 「全国ひとつ」日本共産党と

政党名で 参議院比例代表は「全国ひとつ」の選挙区です。政党名でも候補者名でも投票できます。

選挙制度紹介(記載例)

赤旗 2018年号外

発行所/日本共産党中央委員会 <http://www.jcp.or.jp>  
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111(代表) FAX 03-5474-8358  
日本共産党の見解を紹介します。あなたのご意見、ご感想をおよせください。

JCP Supporter  
HPからどなたでも登録できます

# 市民とスクラム 政治を変える

大企業中心・米国いいなり転換を



安倍  
暴走政治  
と対決



党副委員長

山下よしき

【略歴】

1960. 2 香川県生まれ。鳥取大学農学部卒。大阪かわち市民生協(現おおさかパルコブ)勤務  
95 参議院大阪選挙区から35歳で初当選  
98 38歳の若さで党参議院国対委員長  
2001 党リストラ反対・雇用を守る闘争本部事務局長  
07 6年ぶりに比例代表で再選。現在3期目  
14.1 党書記局長 16.4 党副委員長  
党参議院議員団長。参議院総務委員会、予算委員会などに所属。家族は妻と三男

## 「9条まもれ」共同広げる

「変えるべきは憲法でなく憲法ないがしろの政治」「9条は軍事費を抑えて経済成長を促すなど平和日本の基礎」と主張(17年11月、代表質問)。「立場を超え9条改憲ストップを」と訴えています。

## 森友問題 徹底追及

国有地がタダ同然で払い下げられた森友問題。山下さんは「疑惑の本丸は安倍首相夫妻だ」と指摘。公文書改ざんは「国会と国民を1年以上も欺き続けた歴史的犯罪行為だ」と追及しました(3月15日、代表質問)。

## 格差・貧困の拡大ストップ

アベノミクスの下で広がる格差・貧困。子どもの貧困問題はライフワーク。子ども食堂でボランティアも。学費値下げ、給付制奨学金創設などで学ぶ権利を保障し、貧困の次世代への連鎖を断ち切れと求めています。

## 維新政治は許さない

維新・橋下大阪市長(当時)が行った市職員への「思想調査」を国会で批判(12年3月)。「大阪市をなくしたいのか」が問われた住民投票(15年5月)では「維新政治ノー」の共同を広げるために奮闘。2度目の住民投票は許さないと訴えています。

## 働くルールの確立へ全力

## 過労死の悲劇繰り返すな

「過労死の悲劇を繰り返さないため、教訓をくみ取る必要がある」。国会で初めてブラック企業を取り上げた山下さんは「残業代ゼロ制度」は長時間労働・過労死の危険を高めるもの」と撤回を要求(3月5日、予算委)。「8時間働けば普通に暮らせる社会に」とがんばっています。

ブラック企業  
初めて告発



▲ブラック企業規制法案を提出(13年10月)

## 近畿から新しい政治を



▲大阪で行われた特別国会報告街頭演説で(17年12月、天王寺MIO前)

山下さんは17年12月に比例予定候補として発表され、近畿各地で精力的に訴え。市民との懇談も重ね、「新しい政治を近畿から」と奮闘しています。

山下さんは現場の苦しみ、怒り、喜びをまっすぐに受け止めて、熱い心で政治に迫る人です。医師確保、アスベスト被害、台風被害など現場を調査し、質問や交渉で近畿の願いを国政に届けています。



▲党兵庫県議団の政府交渉に参加(2月)

近畿の  
願い  
国政に